

会 議 録

会議名称	大空町廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和3年2月24日(水)	13時55分から 15時45分まで
開催場所	役場3階1号会議室	
出席者の氏名	(委員) 坂本一光(会長)、原本光枝(副会長)、皆川正人、岩原 繁、菅野宏治、河西美香、田中優子、嶋崎 武 (町(事務局)) 住民課長 星加政志、住民課主幹 佐藤貴宣、住民福祉課主幹 下元 愛	
傍聴者の数	0名	
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・大空町廃棄物減量等推進審議会議案書 ・諮問書(写) ・資料1 ごみ処分手数料及びごみ収集運搬手数料の改定について ・資料2 ごみ処理経費及びコスト ・資料3 生活系ごみ処理手数料比較表 	
審議内容及び結果	【審議会次第】 1 開 会 諮 問(ごみ処分手数料及びごみ収集運搬手数料の改定について) 2 議 事 (1) ごみ処分手数料及びごみ収集運搬手数料の改定について (2) その他	

【議事要旨】

(1) ごみ処分手数料及びごみ収集運搬手数料の改定について

事務局から資料1から資料3により、現在までの料金設定から経過、廃棄物処分状況、経費の状況、近隣との手数料の比較について説明した。

会 長：①平成17年度の料金設定当初、ごみ処分手数料とごみ収集運搬手数料は、廃棄物処理に係る経費の3割を目途に設定されたが、現状は、資源物処理を除くと24.5%、含めると22.1%とのことである。適正であるかということ。

②現状は、資源物は無料である。ごみの減量化、環境への貢献のため、皆さんに協力いただいているという考え方である。

③一律に値上げするという考え方で良いかどうか。

④近隣市町の手数料額との差について考慮する必要があるか。

⑤コロナ禍と言われている現況下で、仮に見直すこととなった場合の実施時期はどのようにしたら良いか。

このような点が、審議いただきたいポイントになると思う

委 員：平成18年度と比較してごみの量が減っているのに、経費が増大している理由は何か。

事務局：最終処分場については、平成18年度では、供用開始されてからまだ2年しか経過していなく、埋め立てられている廃棄物量が少ないことから、減量化作業の方法や浸出水処理方法が異なっている。

焼却処理施設については、生ごみの分別により燃料費が抑えられていることがあるが、建設から年数が経過しており、施設の維持管理経費が増大している。

委員：経常的に掛かる経費の状況と突発的に掛かる経費の比較ができる資料の提出を求めらる。

事務局：了解した。次回までに準備する。

委員：ごみ有料化以降、分別が難しいため、ごみを出せないという方はいないのか。

事務局：分別が難しく捨てられないという方については、町へ連絡いただいたり、例えば高齢者であれば、介護サービス利用の検討や、民生委員へ相談することにより対応できる場合がある。

委員：廃棄物処理の広域化による経費への影響はあるか。

事務局：影響はある。これから色々検討していくところである。

会長：色々不確定要素がある中であるが、次回また経費の詳細が分かる資料を用いて審議したい。

事務局：手数料については、増額することだけではなく、利便性の向上についても考えなければ、町民皆さんの理解は得られないと思っている。事務局でも考えを示していくが、この審議会でも色々ご意見をいただきたい。

次回は4月中旬以降に開催する予定。各委員の出席についてお願いしたい。

(2) その他
特になし